

日亜溶接棒

BKH-60R

金型肉盛用

BKH-60Rは従来困難とされていた焼入硬化した金型用材料や硬化肉盛部の欠損箇所を補修するために設計・開発されたティグ溶加棒です。

高い予熱を必要とせず肉盛溶接ができ、溶着金属は常温から高温まですぐれた耐衝撃性を示します。

用途	SKD11 及び焼入硬化された金型材料の肉盛。 鍛造金型への肉盛。
作業要領	①一般に予熱を必要としませんが、材質・形状によっては 150℃以上の予熱が必要です。 ②焼入材や硬化肉盛部の補修の場合は、ビード長 50mm 程度として下さい。 ③工具鋼のような高炭素材料に肉盛する場合は、低い電流を使用して下さい。

■溶加棒の化学成分一例

C	Si	Mn	Cr	Mo	W
0.41	0.46	0.07	8.45	1.14	9.40

■溶着金属の硬さ

条件	ビッカース (HV)	ロックウェル (HRC)	ショアー (HS)
予熱・パス間温度 300℃	620~680	56~59	75~80

■製造寸法

棒 径 (mm)	包装重量 (KG)
1.6 2.0	5